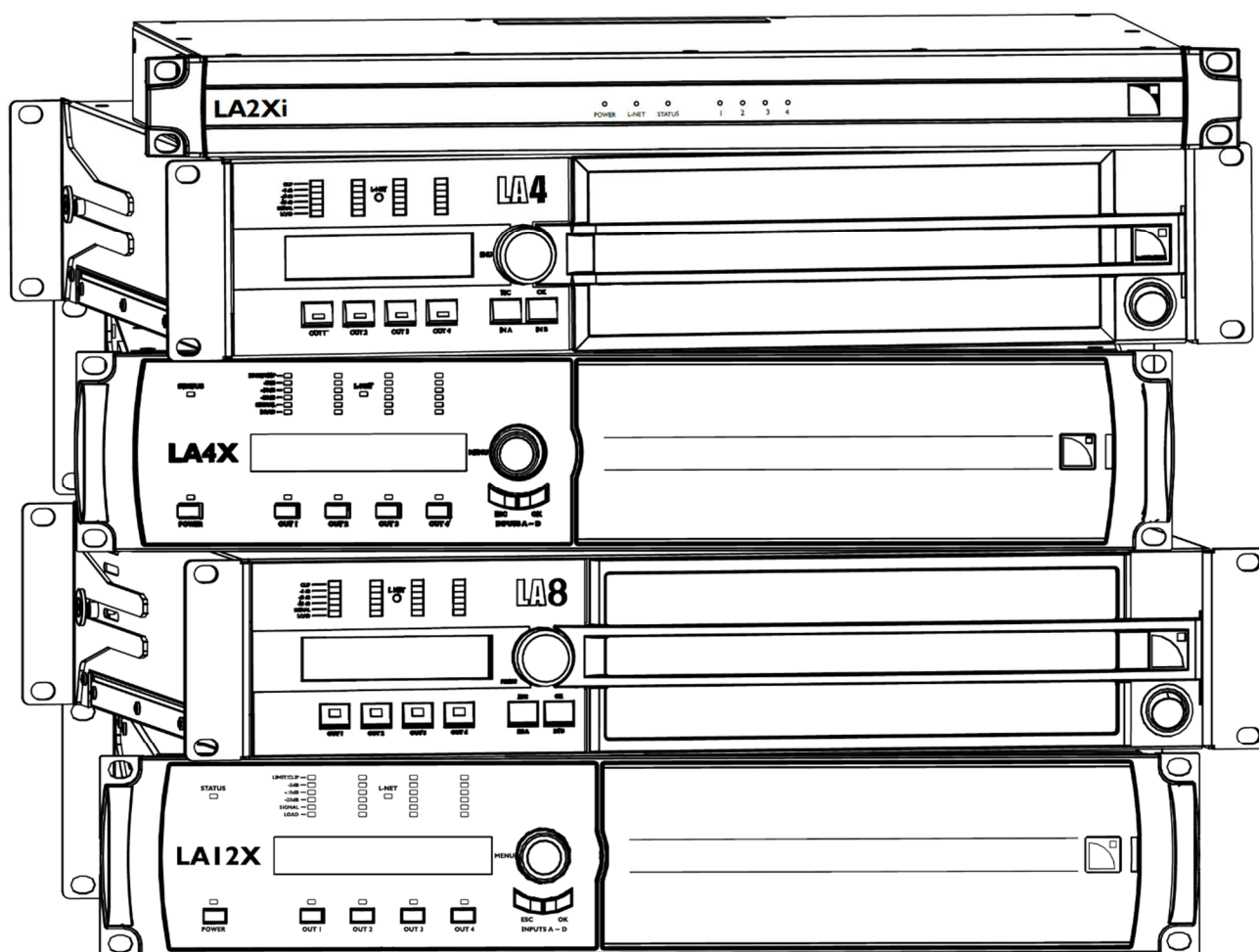


プリセットガイド



オーナーズマニュアル（日本語）



Document reference: Preset libraries preset guide (JP) version 16.0

Distribution date: March 8, 2021

© 2020 L-Acoustics. All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means without the express written consent of the publisher.

目次

はじめに	5
プリセット デザイン	6
オンボードプリセットライブラリー	8
LA2Xi プリセットライブラリー	8
LA4 プリセットライブラリー	11
LA4X プリセットライブラリー	15
LA8 プリセットライブラリー	19
LA12X プリセットライブラリー	26
フラットプリセット	31
可変曲率 WST システム プリセット	32
K1	32
K2	34
K3	36
Kara II	37
Kara	39
Kiva II	40
Kiva SB15m	41
Kiva Kilo	42
Kudo	44
V-DOSC	45
dV-DOSC	47
定曲率 WST システム プリセット	49
ARCS Wide / ARCS Focus	49
A10 Wide/Focus	50
A15 Wide/Focus	51
ARCS II	52
ARCS	53
コリニアソースシステム プリセット	54
Syva	54
同軸スピーカーエンクロージャー プリセット	56
X4i	56
5XT	57
X8	58
X12	59
X15 HiQ	60
8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP	61
12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA	62

サブウーハーエンクロージャー プリセット.....	63
プリアライメントディレイ値	66
可変曲率 WST システム	67
定曲率 WST システム	81
コリニアシステム	84
同軸スピーカーエンクロージャー	84
負荷インピーダンス	90
アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力	91
LA4 のエンクロージャードライブ能力	93

始めに

L-Acoustics のアンブリファイドコントローラーはオンボードにファームウェアとプリセットライブラリーを搭載しています。

オンボードライブラリーのプリセットは、アンブリファイドコントローラーのフロントパネル、または L-Acoustics のアンブリファイドコントローラーのネットワークを介したリモートコントロールとモニタリングに特化した管理ツールである LA Network Manager ソフトウェアアプリケーションからロードできます。

LA Network Manager は、L-Acoustics アンブコントローラのファームウェアのアップデートに必須です。ファームウェアには最新のプリセットライブラリーが自動的にインストールされます。ソフトウェア、ファームウェア、ライブラリーの最新バージョンは L-Acoustics のウェブサイトをご確認ください。



L-Acoustics アンブリファイドコントローラーの操作

LA2Xi、LA4、LA4X、LA8、LA12X、LA-RAK、LA-RAK II、LA-RAK II AVB のユーザーマニュアルを参照してください。

LA Network Manager ソフトウェアのインストール

LA アンブリファイドコントローラーリリースパックをダウンロードし、**LA NWM installation** 技術解説書を参照してください。

L-Acoustics アンブリファイドコントローラーのファームウェアアップデート

ソフトウェアのヘルプメニューからアクセスできる LA Network Manager のヘルプを参照してください。

本書は LA2Xi、LA4、LA4X、LA8、LA12X のプリセットライブラリーバージョン 6.5(.7)について説明します。

記号

本書では以下の記号を使用しています。



この記号は、人に危害が及ぶ可能性があることや、製品が破損する可能性があることを示しています。
また、製品の安全な設置や操作を確保するために、厳密に守らなければならない指示をユーザーに通知しています。



この記号は、製品の適切なインストールまたは操作を確実に行うために厳守しなければならない指示をユーザーに通知します。



この記号は、補完的な情報やオプションの指示をユーザーに通知します。



許可がない限り開けないでください。
この記号は感電の危険があることを示しています。
また、エンドユーザーがメンテナンスを行う際に内部コンポーネントへのアクセスを必要としないことを示しています。

プリセット デザイン

ゲインストラクチャー

L-Acoustics のすべてのファクトリープリセットのゲインは、音楽信号に類似したピンクノイズを基準信号としてキャリブレートされています。基準入力レベルはアナログ信号で **0 dBu**、デジタル信号で **-22 dBfs** です。

このレベルの信号を L-Acoustics アンプリファイドコントローラーに入力すると、L-Acoustics スピーカーエンクロージャーは 8 dB のヘッドルームをサウンドエンジニアに提供します。例外として小型スピーカーは 4 dB のヘッドルームにキャリブレートされています。(MTD108a、5XT、X8、8XT、KIVA、KILO)

このゲインストラクチャーにより、同じフォーマット（現場）で様々なタイプのエンクロージャーを使用するケースで L-Acoustics システムのパワーリソース管理が容易になります。デフォルトの出力ゲイン設定（0 dB）であれば、すべてのエンクロージャーが同じプログラムレベルでリミットをむかえます。小型フォーマットのエンクロージャーを大型フォーマットのエンクロージャーと一緒に使うケースでは、小型フォーマットエンクロージャーに -4 dB のゲイン調整を適用します。



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである [SB15_100] と [SB15_100_C] のヘッドルームは、プリセットライブラリー 5.6(.5) から 8 dB に変更しました。[SB15_100_Cx] のヘッドルームは 8 dB です。ハイブリットプリセット [KIVA_SB15] および以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

K1-SB、KS28、SB28、SB18、SB218、SB118 のヘッドルーム

8 dB ヘッドルームの提供を目的として、プリセットライブラリー 6.0 にて、サブウーハープリセットのいくつかの出力ゲインを以前のバージョンから変更しました。

このアップデートでは、フルレンジスピーカーとサブウーハー間の L-DRIVE のアクティビティを、同じ基準のピンクノイズ信号でアラインしています。

古いバージョンのプリセットライブラリーを用いているセッションファイルのプリセットを更新した場合、同じゲインを確保するにはつぎの調整をしてください。

[SB28_60]、[SB218_60] : + 4 dB

[KS28_60]、[SB28_100]、[SB18_60]、[SB18_100]、[SB218_100]、[SB118_60]、[SB118_100] : + 3 dB

[KS28_100] : + 2 dB

[K1SB_60] : + 1 dB

エレクトロ-アコースティック カップリング

推奨スピーカー構成に対して定められたプリセットを用いることにより、特定の放射パターンを持つコヒレントな音源となります。

L-Acoustics ファクトリープリセットは、アクティブエンクロージャーの内部や、様々なスピーカーエンクロージャーを組み合わせた際に存在する「異なるトランスデューサーセクション間のカップリング」を確実にします。

既定のチャンネルセットに対して、ファクトリー設定上のプリセットパラメーターをユーザーが調整できます。

いくつかの特定のスピーカー構成用のプリセットと、アクティブスピーカーのプリセットに対してチャンネルセットを定めています。適切な出力チャンネルの組み合わせに対してルーティング、ゲイン、ディレイのパラメーターをリンクすることでコヒレントなカップリングが維持されます。例えば、[LF HF] は 2 ウェイエンクロージャー用プリセットのチャンネルセットです。また、[SR SB SB SB] はカーディオイドサブウーハー用プリセットのチャンネルセットです。

本書は L-Acoustics プロダクトファミリーを区分し、システムごとの推奨スピーカー構成と、適合するファクトリープリセット、得られる音響的な特性を一覧で示します。

サブウーハーの「近接」と「分離」に関する制限は、該当するシステムのユーザーマニュアルを参照してください。

いくつかのエンクロージャーを組み合わせるケースではタイムアライメントのためにディレイ値の調整が必要です。詳細は [プリアライメントディレイ値](#) (p.65) のセクションを確認してください。

周波数レスポンスコンター

同軸スピーカーエンクロージャーである X シリーズには 2 つの異なるコンターがあります。

- 標準プリセット：ステージモニターを除くすべてのアプリケーション向け。
- MO プリセット：ステージモニターアプリケーション向け。

旧タイプの同軸スピーカーエンクロージャー（XT、MTD シリーズ）には 3 つの異なるコンターがあります。

- FR プリセット：一般的な FOH アプリケーション向け
- FI プリセット：フィルシステム、ジャズ、クラシック音楽、スピーチ向け。
- MO プリセット：1/2 自遊空間（スピーカーをフロア置くことを想定）におけるモニターアプリケーション向け。

現行の WST システムには 1 つまたは 2 つの異なるコンターがあります。

- メインのプリセット：一般的な配列のラインソースにおいて基準的な FOH コンター
- FI プリセット：当該スピーカーエンクロージャーをフィルシステムで使用する際に適したコンター（一部のシステムのみ）

従来の WST システムは従来のプリセット構成を引き継いでいます。（_HI と _LO のプリセット）

ユーザーは必要に応じて LA Network Manager のコンターEQ ツールでシステムの音色を調整できます。

WST システムのレスポンス調整には 2 種類のアレイモーフィングツール（ズームファクターと LF コンター）を用います。これにより基準聴取距離やラインソース長に関わらず、異なるソース（アレイ）の音色を統一させることができます。（聴取距離が近いイメージ・遠いイメージ）（ライン長が短いイメージ・長いイメージ）詳細は LA Network Manager のビデオチュートリアルとアレイモーフィング解説書を参照してください。

オンボードプリセットライブラリー

オンボードプリセットライブラリーは、適応するアンプリファイドコントローラーのドライブ能力と L-Acoustics スピーカーエンクロージャーが必要とするパワーのマッチングがとられています。

アンプリファイドコントローラーの最大出力

タイプ	16 Ω	8 Ω	4 Ω	2.7 Ω
LA12X	---	4 x 1400 W	4 x 2600 W	4 x 3300 W
LA8	---	4 x 1100 W	4 x 1800 W	
LA4X	---	4 x 1000 W		---
LA4	---	4 x 800 W	4 x 1000 W	---
LA2Xi	4 x 190 W	4 x 360 W	4 x 640 W	---
	---	2 x 1260 W		
			1 x 2550 W	

1 kHz・全チャンネル駆動、CEA-2006 / 490A に基づく試験。

LA2Xi プリセットライブラリー

LA2Xi オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 067 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA2Xi プリセットライブラリー 6.6

KARA II

011	[KARA II 70]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
012	[KARA II 90]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
013	[KARA II 110]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
014	[KARA II_FI]	KARA II、HPF=100 Hz、フィル
015	[KARAIIDOWNK3I]	KARA II、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KARA

016	[KARA]	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
017	[KARA_FI]	KARA、HPF=100 Hz、フィル
018	[KARADOWNK3]	KARA、HPF=100 Hz、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KIVA II

019	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
020	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

A15

021	[A15]	A15 Wide または A15 Focus、フルレンジ
022	[A15_FI]	A15 Wide または A15 Focus、フルレンジ、フィル

A10

023	[A10]	A10 Wide または A10 Focus、フルレンジ
024	[A10_FI]	A10 Wide または A10 Focus、フルレンジ、フィル

ARCS_WF

025	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
026	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

KS28

027	[KS28_60]	KS28、LPF=60 Hz
028	[KS28_100]	KS28、LPF=100 Hz
029	[KS28_60_C]	KS28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
030	[KS28_100_C]	KS28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
031	[KS28_60_Cx]	KS28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
032	[KS28_100_Cx]	KS28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB28

033	[SB28_60]	SB28、LPF=60 Hz
034	[SB28_100]	SB28、LPF=100 Hz
035	[SB28_60_C]	SB28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
036	[SB28_100_C]	SB28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
037	[SB28_60_Cx]	SB28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
038	[SB28_100_Cx]	SB28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KS21

039	[KS21_60]	KS21、LPF=60 Hz
040	[KS21_100]	KS21、LPF=100 Hz
041	[KS21_60_C]	KS21、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
042	[KS21_100_C]	KS21、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
043	[KS21_60_Cx]	KS21、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
044	[KS21_100_Cx]	KS21、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

045	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
046	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
047	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
048	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
049	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
050	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

051	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
052	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
053	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SYVA

054	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

055	[SYVA LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
-----	----------------	--------------------------

SYVA+LOW

056	[SYVA LOW SYVA]	Syva および Syva Low（近接した）
-----	-----------------	-------------------------

SYVA_SUB

057	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
058	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

X15 HiQ

059	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
060	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

061	[X12]	X12、フルレンジ
062	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

063	[X8]	X8、フルレンジ
064	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

5XT

065	[5XT]	5XT、フルレンジ
-----	-------	-----------

X4i

066	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

FLAT

067	[FLAT_LA2Xi]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	--------------	--------------------------

LA4 プリセットライブラリー

LA4 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 094 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4 プリセットライブラリー 6.6

KIVA

011	[KIVA]	Kiva、フルレンジ、フロントオブハウス
012	[KIVA_FI]	Kiva、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

013	[KIVA_SB15]	Kiva および SB15m、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

KIVAKILO

014	[KIVA_KILO]	Kiva および Kilo、フルレンジ、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	--

ARCS

015	[ARCS_LO]	ARCS、フルレンジ、LO コンター
016	[ARCS_LO_60]	ARCS、HPF=60 Hz、LO コンター
017	[ARCS_LO_100]	ARCS、HPF=100 Hz、LO コンター
018	[ARCS_HI]	ARCS、フルレンジ、HI コンター
019	[ARCS_HI_60]	ARCS、HPF=60 Hz、HI コンター
020	[ARCS_HI_100]	ARCS、HPF=100 Hz、HI コンター

ARCS_WF

021	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
022	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

SB18

023	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
024	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
025	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
026	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
027	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
028	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB118

029	[SB118_60]	SB118、LPF=60 Hz
030	[SB118_100]	SB118、LPF=100 Hz
031	[SB118_60_C]	SB118、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
032	[SB118_100_C]	SB118、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

033	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
034	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
035	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KILO

036	[KILO]	Kilo、LPF=100 Hz
-----	--------	-----------------

SYVA_SUB

037	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化
-----	----------------	------------------------------------

12XTA

038	[12XTA_FI]	12XT アクティブ、フルレンジ、フィル
039	[12XTA_FI_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
040	[12XTA_FR]	12XT アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
041	[12XTA_FR_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
042	[12XTA_MO]	12XT アクティブ、フルレンジ、モニター
043	[12XTA_MO_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

12XTP

044	[12XTP_FI]	12XT パッシブ、フルレンジ、フィル
045	[12XTP_FI_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
046	[12XTP_FR]	12XT パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
047	[12XTP_FR_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
048	[12XTP_MO]	12XT パッシブ、フルレンジ、モニター
049	[12XTP_MO_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

8XT

050	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
051	[8XT_FI_100]	8XT、HPF=100 Hz、フィル
052	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
053	[8XT_FR_100]	8XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
054	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
055	[8XT_MO_100]	8XT、HPF=100 Hz、モニター

5XT

056	[5XT]	5XT、フルレンジ
-----	-------	-----------

X4

057	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

115XT

058	[115XT_FI]	115XT、フルレンジ、フィル
059	[115XT_FI_100]	115XT、HPF=100 Hz、フィル
060	[115XT_FR]	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
061	[115XT_FR_100]	115XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
062	[115XT_MO]	115XT、フルレンジ、モニター
063	[115XT_MO_100]	115XT、HPF=100 Hz、モニター

MTD115bA

064	[115bA_FI]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、フィル
065	[115bA_FI_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
066	[115bA_FR]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
067	[115bA_FR_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
068	[115bA_MO]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、モニター
069	[115bA_MO_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

MTD115bP

070	[115bP_FI]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、フィル
071	[115bP_FI_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
072	[115bP_FR]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
073	[115bP_FR_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
074	[115bP_MO]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、モニター
075	[115bP_MO_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

112XT

076	[112XT_FI]	112XT、フルレンジ、フィル
077	[112XT_FI_100]	112XT、HPF=100 Hz、フィル
078	[112XT_FR]	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
079	[112XT_FR_100]	112XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
080	[112XT_MO]	112XT、フルレンジ、モニター
081	[112XT_MO_100]	112XT、HPF=100 Hz、モニター

MTD112b

082	[112b_FI]	MTD112b、フルレンジ、フィル
083	[112b_FI_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、フィル
084	[112b_FR]	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
085	[112b_FR_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
086	[112b_MO]	MTD112b、フルレンジ、モニター
087	[112b_MO_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、モニター

MTD108a

088	[108a_FI]	MTD108a、フルレンジ、フィル
089	[108a_FI_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、フィル
090	[108a_FR]	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
091	[108a_FR_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
092	[108a_MO]	MTD108a、フルレンジ、モニター
093	[108a_MO_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、モニター

FLAT

094	[FLAT_LA4]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	------------	--------------------------

LA4Xプリセットライブラリー

LA4X オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 104 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4Xプリセットライブラリー 6.6

K2

011]	[K2 70]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
012	[K2 90]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
013	[K2 110]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3

014	[K3 70]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
015	[K3 90]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
016	[K3 110]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

KUDO

017	[KUDO50_25]	KUDO、HPF=25 Hz、K ルーバー50°設定
018	[KUDO50_40]	KUDO、HPF=40 Hz、K ルーバー50°設定
019	[KUDO50_60]	KUDO、HPF=60 Hz、K ルーバー50°設定
020	[KUDO80_25]	KUDO、HPF=25 Hz、K ルーバー80°設定
021	[KUDO80_40]	KUDO、HPF=40 Hz、K ルーバー80°設定
022	[KUDO80_60]	KUDO、HPF=60 Hz、K ルーバー80°設定
023	[KUDO110_25]	KUDO、HPF=25 Hz、K ルーバー110°設定
024	[KUDO110_40]	KUDO、HPF=40 Hz、K ルーバー110°設定
025	[KUDO110_60]	KUDO、HPF=60 Hz、K ルーバー110°設定

KARA_II

026	[KARA II 70]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
027	[KARA II 90]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
028	[KARA II 110]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
029	[KARA II_FI]	KARA II、HPF=100 Hz、フィル
030	[KARAIIDOWNK1]	KARA II、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
031	[KARAIIDOWNK2]	KARA II、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
032	[KARAIIDOWNK3]	KARA II、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KARA

033	[KARA]	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
034	[KARA_FI]	KARA、HPF=100 Hz、フィル
035	[KARADOWNK1]	KARA、HPF=100 Hz、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
036	[KARADOWNK2]	KARA、HPF=100 Hz、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
037	[KARADOWNK3]	KARA、HPF=100 Hz、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KIVA_II

038	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
039	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

KIVA

040	[KIVA]	Kiva、フルレンジ、フロントオブハウス
041	[KIVA_FI]	Kiva、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

042	[KIVA_SB15]	Kiva および SB15m、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

KILOKIVA

043	[KIVA_KILO]	Kiva および Kilo、フルレンジ、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	--

ARCS_II

044	[ARCS II]	ARCS II、フルレンジ
-----	-----------	---------------

A15

045	[A15]	A15 Wide または A15 Focus、フルレンジ
046	[A15_FI]	A15 Wide または A15 Focus、フルレンジ、フィル

A10

047	[A10]	A10 Wide または A10 Focus、フルレンジ
048	[A10_FI]	A10 Wide または A10 Focus、フルレンジ、フィル

ARCS_WF

049	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
050	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

KS21

051	[KS21_60]	KS21、LPF=60 Hz
052	[KS21_100]	KS21、LPF=100 Hz
053	[KS21_60_C]	KS21、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
054	[KS21_100_C]	KS21、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
055	[KS21_60_Cx]	KS21、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
056	[KS21_100_Cx]	KS21、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

057	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
058	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
059	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
060	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
061	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
062	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

063	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
064	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
065	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KILO

066	[KILO]	Kilo、LPF=100 Hz
-----	--------	-----------------

SYVA

067	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

068	[SYVA LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
-----	----------------	--------------------------

SYVA+LOW

069	[SYVA LOW SYVA]	Syva および Syva Low（近接した）
-----	-----------------	-------------------------

SYVA_SUB

070	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
071	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

X15 HiQ

072	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
073	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

074	[X12]	X12、フルレンジ
075	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

076	[X8]	X8、フルレンジ
077	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

078	[HiQ_FI]	115XT HiQ、フルレンジ、フィル
079	[HiQ_FI_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フィル
080	[HiQ_FR]	115XT HiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
081	[HiQ_FR_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
082	[HiQ_MO]	115XT HiQ、フルレンジ、モニター
083	[HiQ_MO_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、モニター

12XTA

084	[12XTA_FI]	12XT アクティブ、フルレンジ、フィル
085	[12XTA_FI_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
086	[12XTA_FR]	12XT アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
087	[12XTA_FR_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
088	[12XTA_MO]	12XT アクティブ、フルレンジ、モニター
089	[12XTA_MO_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

12XTP

090	[12XTP_FI]	12XT パッシブ、フルレンジ、フィル
091	[12XTP_FI_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
092	[12XTP_FR]	12XT パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
093	[12XTP_FR_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
094	[12XTP_MO]	12XT パッシブ、フルレンジ、モニター
095	[12XTP_MO_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

8XT

096	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
097	[8XT_FI_100]	8XT、HPF=100 Hz、フィル
098	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
099	[8XT_FR_100]	8XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
100	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
101	[8XT_MO_100]	8XT、HPF=100 Hz、モニター

5XT

102	[5XT]	5XT、フルレンジ
-----	-------	-----------

X4

103	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

FLAT

104	[FLAT_LA4X]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	-------------	--------------------------

LA8 プリセットライブラリー

LA8 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 182 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA8 プリセットライブラリー 6.6

K1

011	[K1]	K1、フルレンジ
-----	------	----------

K2

012	[K2 70]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	[K2 90]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	[K2 110]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3

015	[K3 70]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
016	[K3 90]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
017	[K3 110]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

018	[K1SB_60]	K1-SB、LPF=60 Hz、コンター構成に最適化
019	[K1SB_X]	K1-SB、LPF=200 Hz、K1 スロー構成に最適化
020	[K1SB_X K2]	K1-SB、LPF=200 Hz、K2 スロー構成に最適化

V-DOSC

021	[V-DOSC_LO]	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター
022	[V-DOSC_LO_60]	V-DOSC、LPF=60 Hz、LO コンター
023	[V-DOSC_LO_X]	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター、[SB218_X] および [dV-S_X] プリセットに最適化
024	[V-DOSC_HI]	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター
025	[V-DOSC_HI_60]	V-DOSC、LPF=60 Hz、HI コンター
026	[V-DOSC_HI_X]	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター、[SB218_X] および [dV-S_X] プリセットに最適化

KUDO

027	[KUDO50_25]	KUDO、HPF=25 Hz、K ルーバー50°設定
028	[KUDO50_40]	KUDO、HPF=40 Hz、K ルーバー50°設定
029	[KUDO50_60]	KUDO、HPF=60 Hz、K ルーバー50°設定
030	[KUDO80_25]	KUDO、HPF=25 Hz、K ルーバー80°設定
031	[KUDO80_40]	KUDO、HPF=40 Hz、K ルーバー80°設定
032	[KUDO80_60]	KUDO、HPF=60 Hz、K ルーバー80°設定
033	[KUDO110_25]	KUDO、HPF=25 Hz、K ルーバー110°設定
034	[KUDO110_40]	KUDO、HPF=40 Hz、K ルーバー110°設定
035	[KUDO110_60]	KUDO、HPF=60 Hz、K ルーバー110°設定

KARA_II

036	[KARA II 70]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
037	[KARA II 90]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
038	[KARA II 110]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
039	[KARA II_FI]	KARA II、HPF=100 Hz、フィル
040	[KARAIIDOWNK1]	KARA II、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
041	[KARAIIDOWNK2]	KARA II、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
042	[KARAIIDOWNK3]	KARA II、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KARA

043	[KARA]	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
044	[KARA_FI]	KARA、HPF=100 Hz、フィル
045	[KARADOWNK1]	KARA、HPF=100 Hz、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
046	[KARADOWNK2]	KARA、HPF=100 Hz、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
047	[KARADOWNK3]	KARA、HPF=100 Hz、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

dV-DOSC

048	[dV_FI]	dV-DOSC、HPF=100 Hz、フィル
049	[dV_LO]	dV-DOSC、フルレンジ、LO コンター
050	[dV_LO_100]	dV-DOSC、HPF=100 Hz、LO コンター
051	[dV_HI]	dV-DOSC、フルレンジ、HI コンター
052	[dV_HI_100]	dV-DOSC、HPF=100 Hz、HI コンター

dV-D_dVS

053	[dV_dV-S_LO]	dV-DOSC および dV-SUB、クロスオーバー100 Hz、LO コンター
054	[dV_dV-S_HI]	dV-DOSC および dV-SUB、クロスオーバー100 Hz、HI コンター
055	[dV_dV-S_LO60]	dV-DOSC および dV-SUB、HPF=60 Hz、クロスオーバー100 Hz、LO コンター
056	[dV_dV-S_HI60]	dV-DOSC および dV-SUB、HPF=60 Hz、クロスオーバー100 Hz、HI コンター

dV-SUB

057	[dV-S_60_100]	dV-SUB、HPF=60 Hz、LPF=100 Hz
058	[dV-S_100]	dV-SUB、LPF=100 Hz
059	[dV-S_60_X]	dV-SUB、HPF=60 Hz、LPF=200 Hz、[V-DOSC_xx_60] プリセットに最適化
060	[dV-S_X]	dV-SUB、LPF=200 Hz、[V-DOSC_xx_X] プリセットに最適化

ARCS_II

061	[ARCS II]	ARCS II、フルレンジ
-----	-----------	---------------

ARCS

062	[ARCS_LO]	ARCS、フルレンジ、LO コンター
063	[ARCS_LO_60]	ARCS、HPF=60 Hz、LO コンター
064	[ARCS_LO_100]	ARCS、HPF=100 Hz、LO コンター
065	[ARCS_HI]	ARCS、フルレンジ、HI コンター
066	[ARCS_HI_60]	ARCS、HPF=60 Hz、HI コンター
067	[ARCS_HI_100]	ARCS、HPF=100 Hz、HI コンター

A15

068	[A15]	A15 Wide または A15 Focus、フルレンジ
069	[A15_FI]	A15 Wide または A15 Focus、フルレンジ、フィル

A10

070	[A10]	A10 Wide または A10 Focus、フルレンジ
071	[A10_FI]	A10 Wide または A10 Focus、フルレンジ、フィル

ARCS_WF

072	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
073	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

SB28

074	[SB28_60]	SB28、LPF=60 Hz
075	[SB28_100]	SB28、LPF=100 Hz
076	[SB28_60_C]	SB28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
077	[SB28_100_C]	SB28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
078	[SB28_60_Cx]	SB28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
079	[SB28_100_Cx]	SB28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KS21

080	[KS21_60]	KS21、LPF=60 Hz
081	[KS21_100]	KS21、LPF=100 Hz
082	[KS21_60_C]	KS21、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
083	[KS21_100_C]	KS21、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
084	[KS21_60_Cx]	KS21、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
085	[KS21_100_Cx]	KS21、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB218

086	[SB218_60]	SB218、LPF=60 Hz
087	[SB218_100]	SB218、LPF=100 Hz
088	[SB218_X]	SB218、LPF=200 Hz、[V-DOSC_xx_X] プリセットに最適化

SB18

089	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
090	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
091	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
092	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
093	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
094	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB118

095	[SB118_60]	SB118、LPF=60 Hz
096	[SB118_100]	SB118、LPF=100 Hz
097	[SB118_60_C]	SB118、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
098	[SB118_100_C]	SB118、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

099	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
100	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
101	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KILO

102	[KILO]	Kilo、LPF=100 Hz
-----	--------	-----------------

KIVA_II

103	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
104	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

KIVA

105	[KIVA]	Kiva、フルレンジ、フロントオブハウス
106	[KIVA_FI]	Kiva、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

107	[KIVA_SB15]	Kiva および SB15m、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

KILOKIVA

108	[KIVA_KILO]	Kiva および Kilo、フルレンジ、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	--

SYVA

109	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

110	[SYVA_LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
-----	----------------	--------------------------

SYVA+LOW

111	[SYVA LOW SYVA]	Syva および Syva Low (近接した)
-----	-----------------	--------------------------

SYVA_SUB

112	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
113	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

X15HiQ

114	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
115	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

116	[X12]	X12、フルレンジ
117	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

118	[X8]	X8、フルレンジ
119	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

120	[HiQ_FI]	115XT HiQ、フルレンジ、フィル
121	[HiQ_FI_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フィル
122	[HiQ_FR]	115XT HiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
123	[HiQ_FR_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
124	[HiQ_MO]	115XT HiQ、フルレンジ、モニター
125	[HiQ_MO_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、モニター

12XTA

126	[12XTA_FI]	12XT アクティブ、フルレンジ、フィル
127	[12XTA_FI_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
128	[12XTA_FR]	12XT アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
129	[12XTA_FR_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
130	[12XTA_MO]	12XT アクティブ、フルレンジ、モニター
131	[12XTA_MO_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

12XTP

132	[12XTP_FI]	12XT パッシブ、フルレンジ、フィル
133	[12XTP_FI_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
134	[12XTP_FR]	12XT パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
135	[12XTP_FR_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
136	[12XTP_MO]	12XT パッシブ、フルレンジ、モニター
137	[12XTP_MO_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

8XT

138	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
139	[8XT_FI_100]	8XT、HPF=100 Hz、フィル
140	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
141	[8XT_FR_100]	8XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
142	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
143	[8XT_MO_100]	8XT、HPF=100 Hz、モニター

5XT

144	[5XT]	5XT、フルレンジ
-----	-------	-----------

X4

145	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

115XT

146	[115XT_FI]	115XT、フルレンジ、フィル
147	[115XT_FI_100]	115XT、HPF=100 Hz、フィル
148	[115XT_FR]	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
149	[115XT_FR_100]	115XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
150	[115XT_MO]	115XT、フルレンジ、モニター
151	[115XT_MO_100]	115XT、HPF=100 Hz、モニター

MTD115bA

152	[115bA_FI]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、フィル
153	[115bA_FI_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
154	[115bA_FR]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
155	[115bA_FR_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
156	[115bA_MO]	MTD115b アクティブ、フルレンジ、モニター
157	[115bA_MO_100]	MTD115b アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

MTD115bP

158	[115bP_FI]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、フィル
159	[115bP_FI_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
160	[115bP_FR]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
161	[115bP_FR_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
162	[115bP_MO]	MTD115b パッシブ、フルレンジ、モニター
163	[115bP_MO_100]	MTD115b パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

112XT

164	[112XT_FI]	112XT、フルレンジ、フィル
165	[112XT_FI_100]	112XT、HPF=100 Hz、フィル
166	[112XT_FR]	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
167	[112XT_FR_100]	112XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
168	[112XT_MO]	112XT、フルレンジ、モニター
169	[112XT_MO_100]	112XT、HPF=100 Hz、モニター

MTD112b

170	[112b_FI]	MTD112b、フルレンジ、フィル
171	[112b_FI_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、フィル
172	[112b_FR]	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
173	[112b_FR_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
174	[112b_MO]	MTD112b、フルレンジ、モニター
175	[112b_MO_100]	MTD112b、HPF=100 Hz、モニター

MTD108a

176	[108a_FI]	MTD108a、フルレンジ、フィル
177	[108a_FI_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、フィル
178	[108a_FR]	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
179	[108a_FR_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
180	[108a_MO]	MTD108a、フルレンジ、モニター
181	[108a_MO_100]	MTD108a、HPF=100 Hz、モニター

FLAT

182	[FLAT_LA8]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	------------	--------------------------

LA12Xプリセットライブラリー

LA12 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 109 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA12Xプリセットライブラリー 6.6

K1

011	[K1]	K1、フルレンジ
-----	------	----------

K2

012	[K2 70]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	[K2 90]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	[K2 110]	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K3

015	[K3 70]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
016	[K3 90]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
017	[K3 110]	K3、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

018	[K1SB_60]	K1-SB、LPF=60 Hz、コンター構成に最適化
019	[K1SB_X]	K1-SB、LPF=200 Hz、K1 スロー構成に最適化
020	[K1SB_X K2]	K1-SB、LPF=200 Hz、K2 スロー構成に最適化

KARA_II

021	[KARA II 70]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
022	[KARA II 90]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
023	[KARA II 110]	KARA II、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定
024	[KARA II_FI]	KARA II、HPF=100 Hz、フィル
025	[KARAIIDOWNK1]	KARA II、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
026	[KARAIIDOWNK2]	KARA II、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
027	[KARAIIDOWNK3]	KARA II、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

KARA

028	[KARA]	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
029	[KARA_FI]	KARA、HPF=100 Hz、フィル
030	[KARADOWNK1]	KARA、HPF=100 Hz、K1 ダウンフィルにディレイを最適化
031	[KARADOWNK2]	KARA、HPF=100 Hz、K2 ダウンフィルにディレイを最適化
032	[KARADOWNK3]	KARA、HPF=100 Hz、K3 ダウンフィルにディレイを最適化

ARCS_II

033	[ARCS II]	ARCS II、フルレンジ
-----	-----------	---------------

A15

034	[A15]	A15 Wide または A15 Focus、フルレンジ
035	[A15_FI]	A15 Wide または A15 Focus、フルレンジ、フィル

A10

036	[A10]	A10 Wide または A10 Focus、フルレンジ
037	[A10_FI]	A10 Wide または A10 Focus、フルレンジ、フィル

ARCS_WF

038	[ARCS_WIFO]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フロントオブハウス
039	[ARCS_WIFO_FI]	ARCS Wide または ARCS Focus、フルレンジ、フィル

KS28

040	[KS28_60]	KS28、LPF=60 Hz
041	[KS28_100]	KS28、LPF=100 Hz
042	[KS28_60_C]	KS28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
043	[KS28_100_C]	KS28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
044	[KS28_60_Cx]	KS28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
045	[KS28_100_Cx]	KS28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB28

046	[SB28_60]	SB28、LPF=60 Hz
047	[SB28_100]	SB28、LPF=100 Hz
048	[SB28_60_C]	SB28、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
049	[SB28_100_C]	SB28、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
050	[SB28_60_Cx]	SB28、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
051	[SB28_100_Cx]	SB28、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KS21

052	[KS21_60]	KS21、LPF=60 Hz
053	[KS21_100]	KS21、LPF=100 Hz
054	[KS21_60_C]	KS21、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
055	[KS21_100_C]	KS21、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
056	[KS21_60_Cx]	KS21、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
057	[KS21_100_Cx]	KS21、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB18

058	[SB18_60]	SB18、LPF=60 Hz
059	[SB18_100]	SB18、LPF=100 Hz
060	[SB18_60_C]	SB18、LPF=60 Hz、カーディオイドパターン
061	[SB18_100_C]	SB18、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
062	[SB18_60_Cx]	SB18、LPF=60 Hz、拡張カーディオイドパターン
063	[SB18_100_Cx]	SB18、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

SB15

064	[SB15_100]	SB15、LPF=100 Hz
065	[SB15_100_C]	SB15、LPF=100 Hz、カーディオイドパターン
066	[SB15_100_Cx]	SB15、LPF=100 Hz、拡張カーディオイドパターン

KIVA_II

067	[KIVA II]	Kiva II、フルレンジ、フロントオブハウス
068	[KIVA II_FI]	Kiva II、フルレンジ、フィル

KIVA

069	[KIVA]	Kiva、フルレンジ、フロントオブハウス
070	[KIVA_FI]	Kiva、フルレンジ、フィル

SB15KIVA

071	[KIVA_SB15]	Kiva および SB15m、クロスオーバー=100 Hz、フロントオブハウス
-----	-------------	---

SYVA

072	[SYVA]	Syva、フルレンジ
-----	--------	------------

SYVA_LOW

073	[SYVA LOW_100]	Syva Low（離れた）、LPF=100 Hz
-----	----------------	--------------------------

SYVA+LOW

074	[SYVA LOW SYVA]	Syva および Syva Low（近接した）
-----	-----------------	-------------------------

SYVA_SUB

075	[SYVA SUB_100]	Syva Sub、LPF=100 Hz
076	[SYVA SUB_200]	Syva Sub、LPF=200 Hz、[X4] プリセットに最適化

X15HiQ

077	[X15]	X15 HiQ、フルレンジ
078	[X15_MO]	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

079	[X12]	X12、フルレンジ
080	[X12_MO]	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

081	[X8]	X8、フルレンジ
082	[X8_MO]	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

083	[HiQ_FI]	115XT HiQ、フルレンジ、フィル
084	[HiQ_FI_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フィル
085	[HiQ_FR]	115XT HiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
086	[HiQ_FR_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
087	[HiQ_MO]	115XT HiQ、フルレンジ、モニター
088	[HiQ_MO_100]	115XT HiQ、HPF=100 Hz、モニター

12XTA

089	[12XTA_FI]	12XT アクティブ、フルレンジ、フィル
090	[12XTA_FI_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フィル
091	[12XTA_FR]	12XT アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
092	[12XTA_FR_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
093	[12XTA_MO]	12XT アクティブ、フルレンジ、モニター
094	[12XTA_MO_100]	12XT アクティブ、HPF=100 Hz、モニター

12XTP

095	[12XTP_FI]	12XT パッシブ、フルレンジ、フィル
096	[12XTP_FI_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フィル
097	[12XTP_FR]	12XT パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
098	[12XTP_FR_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
099	[12XTP_MO]	12XT パッシブ、フルレンジ、モニター
100	[12XTP_MO_100]	12XT パッシブ、HPF=100 Hz、モニター

8XT

101	[8XT_FI]	8XT、フルレンジ、フィル
102	[8XT_FI_100]	8XT、HPF=100 Hz、フィル
103	[8XT_FR]	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
104	[8XT_FR_100]	8XT、HPF=100 Hz、フロントオブハウス
105	[8XT_MO]	8XT、フルレンジ、モニター
106	[8XT_MO_100]	8XT、HPF=100 Hz、モニター

5XT

107	[5XT]	5XT、フルレンジ
-----	-------	-----------

X4

108	[X4]	X4i、フルレンジ
-----	------	-----------

FLAT

109	[FLAT_LA12X]	フラット EQ、クリップのリスクを最小化する保護
-----	--------------	--------------------------

フラットプリセット



フラットプリセットの出力チャンネルに接続したトランスデューサーは L-DRIVE で保護されません。

FLAT プリセットで作用するリミットは「アンプ保護のためにクリップを最小化するものだけ」です。

サードパーティーのスピーカーエンクロージャーをドライブする場合は、スピーカーモデルに合わせたプリセットを持つ外部 DSP デバイスの併用を推奨します。

FLAT プリセットは、入力信号の周波数特性に変更を加えずに増幅し、ダイレクトに出力にルーティングします。すべての出力パラメーターにアクセスできます。(ミュート、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ルーティング)

- LA2Xi の SE モードにおける [FLAT_LA2X] プリセットのヘッドルームは 0 dB です。
- LA2Xi の BTL/PBTL モード、LA4、LA4X における [FLAT_xxx] プリセットのヘッドルームは 6dB です。
- LA8 における [FLAT_LA8] プリセットのヘッドルームは 8 dB です。
- LA12X における [FLAT_LA12X] プリセットのヘッドルームは 9.5 dB です。

[FLAT_xxxx]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

可変曲率 WST システム プリセット

可変曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットはロングスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

K1



互換性の問題

プリセットライブラリー4.x の[K1][KARADOWNK1][K2 xxx]のプリセットは、バージョン 4.0 未満のプリセットライブラリーと互換性がありません。

古いプリセットを使っているセッションファイルから仕事を始めると互換性の問題が発生します。一つのラインソースの中では、すべてのユニットで同じバージョンのプリセットライブラリーを使ってください。

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K1	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K1 ラインソース	[K1]	-	-	35 Hz – 20 kHz
K1 / K1-SB ラインソース (K1-SB が上段)	[K1]	[K1SB_X]	-	低域スローイング強化
K1 ラインソース + 近接 K1-SB サブウーハー (横または後)	[K1]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去（側方偏極または後方カーディオイド）
K1 ラインソース + サブウーハー	[K1]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

*サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]または[xx28_60_Cx]を用います。



垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション

K2 エンクロージャーは[K2_110]でドライブします。

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK1]、Kara II エンクロージャーは[KARAIIDOWNK1]でドライブします。

[K1]と[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KARADOWNK1] / [KARAIIDOWNK1]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



[KARAIIDOWNK1]プリセットは、Kara II の **110°**フィンセッティングに最適化されています。



工場出荷時のパラメーターには、Kara または Kara II を K1 ラインソースのダウンフィルとしてカップリングする最適なディレイを含んでいます。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

K2

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K2	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K2 ラインソース	[K2 xxx]	-		35 Hz – 20 kHz 水平指向角調整可能
K2 / K1-SB ラインソース (K1-SB が上段)	[K2 xxx]	[K1SB_X K2]	-	低域スローイング強化
K2 ラインソース + 近接 K1-SB サブウーハー (上・横・後)	[K2 xxx]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去 (側方偏極または後方カーディオイド)
K2 ラインソース + サブウーハー	[K2 xxx]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]または[xx28_60_Cx]を用います。

**K2 のフィン設定とプリセット**

K2 のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。

[K2 70] : 70°、[K2 90] : 90°、[K2 110] : 110°

詳細は K2 ユーザーマニュアルを参照してください。

**垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション**

KARA エンクロージャーは[KARADOWNK2]、Kara II エンクロージャーは[KARAIIDOWNK2]でドライブします。

[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X K2]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



[K1SB_X K2] のヘッドルームは 10 dB です。

[KARADOWNK2] / [KARAIIDOWNK2]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



[KARAIIDOWNK2]プリセットは、Kara II の **110°**フィンセッティングに最適化されています。



工場出荷時のパラメーターには、Kara または Kara II を K2 ラインソースのダウンフィルとしてカップリングする最適なディレイを含んでいます。

[KARADOWNK2] / [KARAIIDOWNK2]のヘッドルームは 11 dB です。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

K3

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	K3	KS28 または KS21*	
K3 ラインソース	[K3 xxx]	-	42 Hz – 20 kHz 水平指向角調整可能
K3 ラインソース + サブウーハー	[K3 xxx]-	[xxxx_60]	29 Hz まで拡張 (KS21) 25 Hz まで拡張 (KS28) 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。



K3 のフィン設定とプリセット
K3 のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。
[K3 70] : 70°、[K3 90] : 90°、[K3 110] : 110°
詳細は K3 オーナーズマニュアルを参照してください。



垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション
KARA エンクロージャーは[KARADOWNK3]、Kara II エンクロージャーは[KARAIIDOWNK3]でドライブします。

[K3 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARADOWNK3] / [KARAIIDOWNK3]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



[KARAIIDOWNK3]プリセットは、Kara II の **110°**フィンセッティングに最適化されています。



工場出荷時のパラメーターには、Kara または Kara II を K3 ラインソースのダウンフィルとしてカップリングする最適なディレイを含んでいます。
[KARADOWNK3] / [KARAIIDOWNK3] のヘッドルームは 15 dB です。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

Kara II

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kara II	SB18、KS21*	KS28、SB28*	
ラインソース	[KARA II xxx]	---	---	55 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KARA II xxx]	[xxxx_100]	---	32 Hz まで拡張 (SB18)、31 Hz まで拡張 (KS21)、25 Hz まで拡張 (KS28 または SB28) 低域コンターを強化
ラインソース + 離れたサブウーハー	[KARA II xxx]	[xxxx_60]	---	
ラインソース + 近接サブウーハー + KS28 または SB28	[KARA II xxx]	[xxxx_100]	[xxxx_60]	
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[KARA II_FI]	---	---	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。



Kara II のフィン設定とプリセット

Kara II のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。

[Kara II 70] : 70°、[Kara II 90] : 90°、[Kara II 110] : 110°

詳細は KARA II オーナーズユーザーマニュアルを参照してください。



Kara と Kara II を同一ラインソースで使わない

Kara と Kara II は音響的なカップリングが最適化されていません。

[KARA II 70] / [KARA II 90] / [KARA II 110]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARA II_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



[KARA II_FI]プリセットは、Kara II の **110°**フィンセッティングに最適化されています。



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kara



KARA と KARAi は同じエンクロージャーのバージョン違いです。推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kara	KS28、SB28、SB18、KS21*	
ラインソース	[KARA]	-	55 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KARA]	[xxxx_100]	32 Hz まで拡張 (SB18)、31 Hz まで拡張 (KS21)、25 Hz まで拡張 (KS28 または SB28) 低域コンターを強化
ラインソース + 離れたサブウーハー	[KARA]	[xxxx_60]	
1 コまたは 2 コのエンクロージャー	[KARA_FI]	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。

[KARA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARA_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kiva II

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva II	SB15m*	SB18*	
ラインソース	[KIVA II]	-		70 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KIVA II]	[SB15_100]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 (SB18) 40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
最大で 3 台の エンクロージャー	[KIVA II_FI]	-		70 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
最大で 3 台の エンクロージャー + 近接サブウーハー	[KIVA II_FI]	[SB15_100]	-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB1x_xx_C]または[SB1x_xx_Cx]を用います。

[KIVA II]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA II_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kiva SB15m

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kiva	SB15m*	
ラインソース	[KIVA]	-	80 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接サブウーハー	[KIVA_SB15]		40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[KIVA]	[SB15_100]	
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[KIVA_FI]	-	80 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
2 コのエンクロージャー + 近接サブウーハー	[KIVA_FI]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]または[SB15_100_Cx]を用います。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_SB15]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SB15m	OUT 1	LF					ON
KIVA	OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_SB15]にはプリアライメントディレイが組み込まれています。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

Kiva Kilo

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva	Kilo	SB18*	
ラインソース	[KIVA]	-	-	80 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 Kilo	[KIVA_KILO]		-	50 Hz まで拡張
ラインソース + 近接した Kilo + SB18	[KIVA_KILO]		[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[KIVA_FI]	-		80 Hz – 20 kHz フラットレスポンス

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB18_100_C]または[SB18_100_Cx]をします。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_KILO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
KILO	OUT 1	LF					ON
KIVA	OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_KILO]はプリアライメントディレイが組み込まれています。

[KILO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	Sb	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

Kudo

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kudo	KS28、SB28、SB18*	
ラインソース	[KUDOxx_25]		35 Hz – 20 kHz
	[KUDOxx_40]		40 Hz – 20 kHz
	[KUDOxx_60]		60 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[KUDOxx_40]	[xxx8_60]	25 Hz まで拡張 (KS28 と SB28) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxx8_xx_C]または[xxx8_xx_Cx]を用います。



KUDO のルーバーとプリセット
KUDO のルーバーに合わせて適合するプリセットを選んでください。
[KUDO50_xx] : 50°、[KUDO80_xx] : 80°、[KUDO110_xx] : 110°
詳細は KUDO ユーザーマニュアルを参照してください。

[KUDOxx_xx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

V-DOSC

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	V-DOSC*	dV-SUB	KS28/SB28/SB218**	
ラインソース	[V-DOSC_LO] または[V-DOSC_HI]	---		40 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 dV-SUB	[V-DOSC_xx_X]	[dV-S-X]	---	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
ラインソース + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	---	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化
ラインソース + 近接 SB218	[V-DOSC_xx_X]	---	[SB218_60]	
ラインソース + 近接 dV-SUB + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	[dV-S_60_X]	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域リソースを追加

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。
** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xx28_xx_Cx]を用います。(KS28 / SB28)

 **垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション**
dV-DOSC エンクロージャーは[dV_xx_100]でドライブします。

[V-DOSC_LO] [V-DOSC_HI] [V-DOSC_xx_60] [V-DOSC_xx_X]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON

 スピーカーを正面から見た右側と左側

[dV-S_X] [dV-S_60_X] [SB218_X]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[dV_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

dV-DOSC

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	dV-DOSC*	dV-SUB	KS28, SB218 SB28, SB18 SB118 **	
ラインソース	[dV_LO] または [dV_HI]	-		65 Hz – 20 kHz
ラインソース + 近接 dV-SUB	[dV_dV-S_xx]		-	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[dV_xx_100]	[dV-S_100]		
ラインソース + 近接 SB	[dV_xx_100]	—	[xxxx_100]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218)
ラインソース + 近接 dV-SUB + 近接した SB	[dV_dV-S_xx60]		[xxxx_60]	
	[dV_xx_100]	[dV-S_60_100]		
1 コまたは 2 コの エンクロージャー	[dV_FI]	-	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。(KS28 / SB28 / SB18)

[dV_LO] [dV_HI] [dV_xx_60] [dV_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV-S_100] [dV-S_60_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[dV_dV-S_HI] [dV_dV-S_HI60] [dV_dV-S_LO] [dV_dV-S_LO60]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
dV-SUB	OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
dV-SUB	OUT 2	SB					ON
dV-DOSC LF	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
dV-DOSC HF	OUT 4	HF					ON

 [dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV_dV-S_xx]はプリアライメントディレイを含んでいます。
[dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_60_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV-S_60_100]はプリアライメントディレイを含んでいます。

 ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

定曲率 WST システム プリセット

定曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットは**ミディアムスロー**アプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

ARCS Wide / ARCS Focus

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS Wide / ARCS Focus	SB18*	
ラインソース	[ARCS_WIFO]	-	55 Hz – 20 kHz
ラインソース + SB18m	[ARCS_WIFO]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[ARCS_WIFO_FI]	-	55 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体エンクロージャー + SB18m	[ARCS_WIFO_FI]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB18_60_C]または[SB18_60_Cx]を用います。

[ARCS_WIFO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[ARCS_WIFO_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

A10 Wide/Focus



A10 Wide/Focus と A10i Wide/Focus は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

KS21 と KS21i は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	A10 Wide/Focus	KS21*	
ラインソース	[A10]	-	67 Hz – 20 kHz
ラインソース + KS21	[A10]	[KS21_100]	31 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[A10_FI]	-	67 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体エンクロージャー + KS21	[A10_FI]	[KS21_100]	31 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[KS21_100_C]または[KS21_100_Cx]を用います。

[A10]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[A10_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

A15 Wide/Focus



A15 Wide/Focus と A15i Wide/Focus は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

KS21 と KS21i は同じエンクロージャーのバージョン違いです。これらの推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	A15 Wide/Focus	KS21*	
ラインソース	[A15]	-	41 Hz – 20 kHz
ラインソース + KS21	[15]	[KS21_60]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体エンクロージャー	[A15_FI]	-	41 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体エンクロージャー + KS21	[A15_FI]	[KS21_60]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[KS21_60_C]または[KS21_60_Cx]を用います。

[A15]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[A15_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

ARCS II

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS II*	KS28 / SB28*	
ラインソース	[ARCS II]	-	50 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[ARCS II]	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]をまたは[xx28_60_Cx]を用います。

[ARCS II]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

ARCS

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS*	SB18 / SB118 KS28 / SB28 / SB218**	
ラインソース	[ARCS_LO]または[ARCS_HI]	-	50 Hz – 20 kHz
ラインソース + サブウーハー	[ARCS_xx_60]	[xxxx_60]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218) 低域コンターを強化
ARCS ラインソース + 近接した SB	[ARCS_xx_100]	[xxxx_100]	

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]または[xxxx_xx_Cx]を用います。(SB18/KS28/SB28)

[ARCS_LO] [ARCS_HI] [ARCS_xx_60] [ARCS_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

コリニアソースシステム プリセット

コリニアソースエンクロージャー用のファクトリープリセットは**ミディアムスロー**アプリケーション向けに最適化されています。

このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

Syva

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Syva	Syva Low	Syva Sub	
コリニアソース	[SYVA]	-	-	87 Hz – 20 kHz
コリニアソース + 近接 Syva Low	[SYVA LOW SYVA]		-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
コリニアソース + 離れた Syva Low	[SYVA]	[SYVA LOW_100]	-	
コリニアソース + 近接 Syva Low + Syva Sub	[SYVA LOW SYVA]		[SYVA SUB_100]	27 Hz まで拡張 低域コンターを強化
コリニアソース + 離れた Syva Low + Syva Sub	[SYVA]	[SYVA LOW_100]	[SYVA SUB_100]	



Syva システムはプリアライメントディレイ値が不要です。

[SYVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SYVA LOW SYVA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
Syva Low	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
Syva	OUT 2	PA					ON
Syva Low	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
Syva	OUT 4	PA					ON



Syva と Syva Low のハイブリッドプリセット

オートコネクトまたは Syva と Syva Low が 60 cm 以内の場合（音響的にカップリングされている）にのみ使用してください。

Syva と Syva Low が 60 cm 以上離れている場合は、LA Network Manager で[SYVA]と[SYVA LOW_100]を組み合わせたカスタムプリセットを作成してください。



[SYVA SUB_100]は Syva / Syva Low と Syva Sub の音響的な結合を最適化するために極性を反転しています。



[SYVA SUB_200]を Syva と組み合わせない。

[SYVA SUB_200]は[X4]プリセットと君合わせて使用するために最適化されています。

[X4i](#) (p.50) を参照



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

同軸スピーカーエンクロージャー プリセット

同軸エンクロージャー用のファクトリープリセットはショートスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

X4i

X4i は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X4i	Syva Sub	
X4i	[X4]	-	120 Hz – 20 kHz
X4i + Syva Sub	[X4]	[SYVA SUB_200]	29 Hz まで拡張 低域コンターを強化

[X4]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

5XT

5XT は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	5XT	SB15m*	
5XT	[5XT]	-	95 Hz – 20 kHz
5XT + SB15m	[5XT]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]または[SB15_100_Cx]を用います。

[5XT]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X8

X8 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X8	SB15m*	
X8	[X8]	-	60 Hz – 20 kHz
	[X8_MO]	-	55 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X8 + SB15m	[X8]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
	[X8_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]または[SB15_100_Cx]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンブリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンブリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.00 ms。)

[X8] [X8_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X12

X12 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X12	SB15m/SB18/KS21*	
X12	[X12]	-	59 Hz – 20 kHz
	[X12_MO]	-	57 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X12 + サブウーハー	[X12]	[xxxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張(SB18) 低域コンターを強化
	[X12_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_100_C]または[xxxx_100_Cx]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせて使う場合、サブウーハーも低レイテンシーモードにしてください。これを実現するためには、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーハーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成します。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.66 ms。LA4X と LA12X は 3.00 ms。)

[X12] [X12_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

X15 HiQ

X15 HiQ は同軸アクティブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X15 HiQ	SB18/KS21*	
X15 HiQ	[X15]	-	55 Hz – 20 kHz
	[X15_MO]	-	52 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X15 HiQ + SB18	[X15]	[SB18_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[X15_MO]		32 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_100_C]または[xxxx_100_Cx]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンブリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせて使う場合、サブウーハーも低レイテンシーモードにしてください。これを実現するためには、低レイテンシーのチャンネルセットとサブウーハーのチャンネルセットを組み合わせたカスタムプリセットを作成します。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンブリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.66 ms。LA4X と LA12X は 3.00 ms。)

[X15] [X15_MO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP は同軸パッシブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸パッシブエンクロージャー	プリセット
8XT	[8XT_xx]
12XT パッシブモード	[12XTP_xx]
MTD108a	[108a_xx]
MTD112b	[112b_xx]
MTD115b パッシブモード	[115bP_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	パッシブ xxx	SB15m, SB18 SB118*		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3つのコンター から選択**
同軸 + 近接サブウーハー	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 低域コンターを強化	

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]または[SBxx_100_Cx]を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA

12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA は同軸アクティブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸アクティブエンクロージャー	プリセット
12XT (アクティブモード)	[12XTA_xx]
115XT HiQ	[HiQ_xx]
MTD115b (アクティブモード)	[115bA_xx]
115XT	[115XT_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	アクティブ xxx	SB18 または SB118*		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3 つのコンター から選択**
同軸 + 近接 SB	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化	

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C] または [SB18_100_CX] を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

サブウーハーエンクロージャー プリセット

このセクションの表は、L-Acoustics の汎用サブウーハーの構成と対応するファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである[SB15_100]と[SB15_100_C]のヘッドルームは、プリセットライブラリー5.6(.5)から 8 dB に変更しました。ハイブリットプリセット[KIVA_SB15]、または以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

K1-SB、KS28、SB28、SB18、SB218、SB118 のヘッドルーム

プリセットライブラリー6.0 において、いくつかのサブウーハーの出力ゲインを 8 dB のヘッドルームに変更しました。

このアップデートでは、同じ基準のピンクノイズ信号を用いて、フルレンジスピーカーとサブウーハースピーカーの L-Drive の挙動を合わせています。

古いバージョンのプリセットライブラリーを用いているセッションファイルのプリセットを更新する場合、更新前と同じゲインを確保するにはつぎの調整をしてください。

[SB28_60]、[SB218_60] : + 4 dB

[KS28_60]、[SB28_100]、[SB18_60]、[SB18_100]、[SB218_100]、[SB118_60]、[SB118_100] : + 3 dB

[KS28_100] : + 2 dB

[K1SB_60] : + 1 dB

サブウーハー	可能なプリセット	最適な互換
KS28	[KS28_60]、[KS28_60_C] [KS28_60_Cx]	K1, K2, K3, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, Kara II, ARCS, ARCS II
	[KS28_100]、[KS28_100_C] [KS28_100_Cx]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
SB28	[SB28_60]、[SB28_60_C] [SB28_60_Cx]	K1, K2, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, Kara II, ARCS, ARCS II
	[SB28_100]または[SB28_100_C]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
KS21	[KS21_60]、[KS21_60_C] [KS21_60_Cx]	A15 Wide/Focus(i), Kara(i), Kara II, K3
	[KS21_100]、[KS21_100_C] [KS21_100_Cx]	A10 Wide/Focus(i), X15 HiQ, X12, XT, Kara(i), Kara II
SB18(i) SB18m	[SB18_60]、[SB18_60_C] [SB18_60_Cx]	Kudo, Kara, SB18(i) Kara II, Kiva/Kilo, ARCS, ARCS Wide, ARCS Focus
	[SB18_100]、[SB18_100_C] [SB18_100_Cx]	Kara, Kara II, ARCS, XT, X シリーズ, Kiva II
SB218	[SB218_60]	V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, ARCS
	[SB218_100]	dV-DOSC, 近接 ARCS
SB118	[SB118_60]、[SB118_60_C]	Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kiva/Kilo, ARCS
	[SB118_100]、[SB118_100_C]	dV-DOSC, ARCS, XT, 近接 MTD
SB15m	[SB15_100]、[SB15_100_C] [SB15_100_Cx]	近接 KIVA, 近接 KIVA II, XT, X12, X8
Syva Low	[SYVA LOW SYVA]	近接 Syva, 近接 Syva + Syva Sub
	[SYVA LOW_100]	Syva, Syva + Syva Sub
Syva Sub	[SYVA SUB_100]	Syva/Syva Low, 近接 Syva/Syva Low
	[SYVA SUB_200]	X4i

スピーカー構成 ¹	プリセット ²	音響特性
標準	[xxxx_60]または[xxxx_100]	25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218) 27 Hz まで拡張 (Syva Low+Syva Sub) 29 Hz まで拡張 (KS21) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 40 Hz まで拡張 (SB15m, Syva Low)
カーディオイド	[xxxx_60_C]または[xxxx_100_C]	25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218) 29 Hz まで拡張 (KS21) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 40 Hz まで拡張 (SB15m) カーディオイドパターン
	[xxxx_60_Cx]または[xxxx_100_Cx]	25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218) 29 Hz まで拡張 (KS21) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 40 Hz まで拡張 (SB15m) 拡張カーディオイドパターン

[xxxx_60] [xxxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

¹ 構成ごとの推奨キャビネット配列パターンはサブウーハーマニュアルを参照してください。

² SB28 と SB218 は LA8 または LA12X アンプリファイドコントローラーでドライブできます。KS28 は LA12X アンプリファイドコントローラーでのみドライブできます。

[xxxx_60_C] [xxxx_100_C] [xxxx_60_Cx] [xxxx_100_Cx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR					ON
SB	OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

プリアライメントディレイ値



幾何学的な計測によるタイムアライメント

いくつかのスピーカースystemを組み合わせる場合には、音響的な合算を最適化するために、それらのディレイ値を調整することが重要です。音響測定のツールが無いケースでは、このセクションの表に示されたプリアライメントディレイ値を使用します。

プリアライメントディレイはエンクロージャーの前面が同一平面上の幾何学的に同じ場所に位置する状態で計測されています。

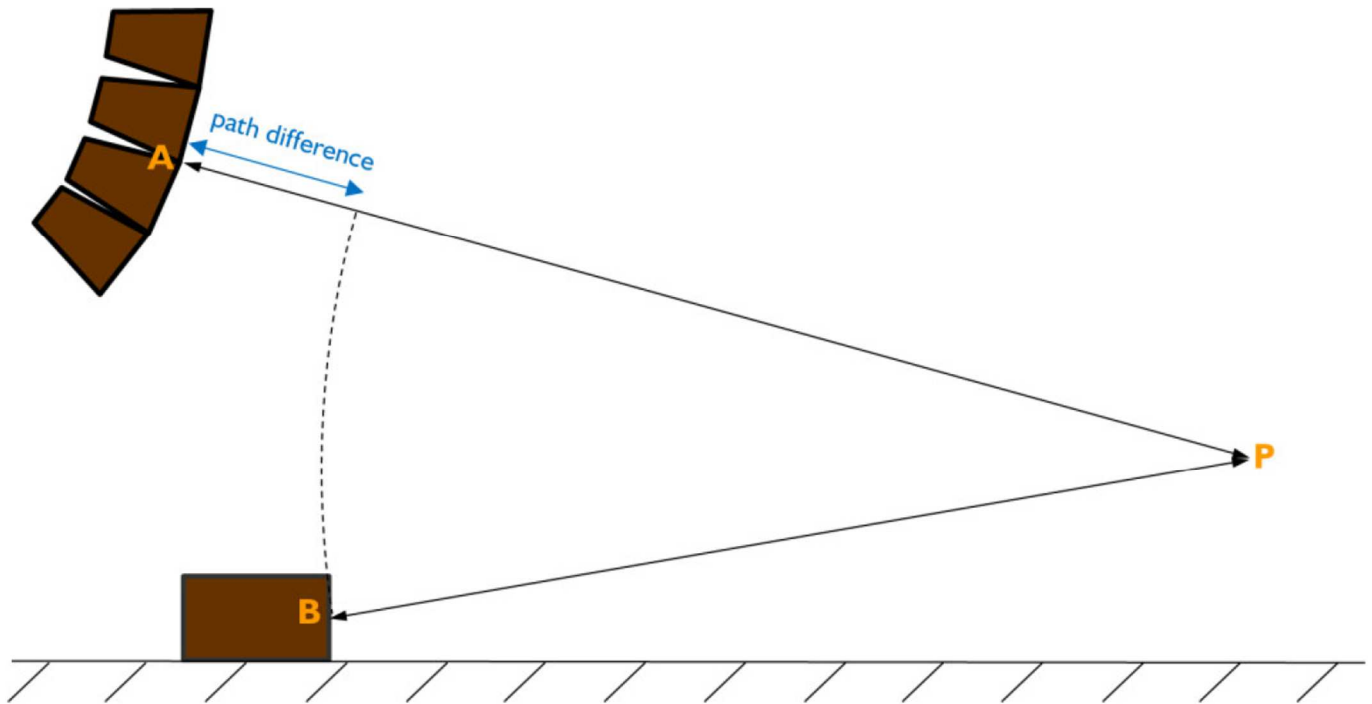
最初にファクトリープリセットにこれらの値を付加し、次にタイムアライメントとして最も到達距離が短いシステムに幾何学的なディレイを追加します。幾何学的なディレイは基準リスニングポイントと各システムとの到達距離差から算出します。



レーザーレンジファインダー（レーザー距離計）

L-Acoustics の Tech Toolcase には距離計測に使用できる truPulse™200 と Leica DISTO™D3、2つのレーザーデバイスを含んでいます。

ラインソース + 離れたサブウーハー



手順

1. PA - PB 間の到達距離差を計測する。
 - P : 基準となるリスニングポイント
 - A : リスニングポイントからの距離が遠いシステムを中心、システム a と名付けます。
 - B : リスニングポイントからの距離が近いシステムを中心、システム b と名付けます。
2. 幾何学的なディレイを計算 (S) : 到達距離差 (m) / 音速 ($\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$)
 - 音速 $\approx 340 \text{ m}\cdot\text{s}^{-1}$ 20°C 空気が乾燥した状態
3. このセクションの表から、システム a とシステム b を組み合わせる場合の「a のプリアライメントディレイ」と「b のプリアライメントディレイ」を読み取ります。
4. それぞれのシステムのファクトリープリセットにアライメントディレイを加えます。さらに、基準リスニングポイントに近い「システム b」にのみ、幾何学的なディレイを加えます。
 - a) システム a のアライメントディレイ (ms) = プリアライメントディレイ a (ms)
 - b) システム b のアライメントディレイ (ms) = プリアライメントディレイ b (ms) + 幾何学的なディレイ (ms)

ノーマライズ : 上の値の差分を保ったまま、値の小さいほうが 0 になるように再計算し入力します。

可変曲率 WST システム

K1 + K1-SB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[K1] + [K1SB_X]	K1 = 0 ms		K1-SB = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms	

K1 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[K1] + [SB28_60]	K1 = 0.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [SB28_60_C]	K1 = 6 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [SB28_60_Cx]	K1 = 4 ms		SB28 = 0 ms	

K1 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定			
[K1] + [KS28_60]	K1 = 0.5 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [KS28_60_C]	K1 = 6 ms		KS28 = 0 ms	
[K1] + [KS28_60_Cx]	K1 = 4 ms		KS28 = 0 ms	

K1 + K1-SB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定					
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60]	K1 = 0 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_C]	K1 = 5.5 ms		K1-SB = 5.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_Cx]	K1 = 3.5 ms		K1-SB = 3.5 ms		SB28 = 0 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 6 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 0.5 ms	
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_Cx]	K1 = 6 ms		K1-SB = 0 ms		SB28 = 4 ms	

K1 + K1-SB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60]	K1 = 0 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60_C]	K1 = 5.5 ms 	K1-SB = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K1] + [K1SB_X] + [KS28_60_Cx]	K1 = 3.5 ms 	K1-SB = 3.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60]	K1 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 6 ms 
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60_C]	K1 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 0.5 ms 
[K1] + [K1SB_60] + [KS28_60_Cx]	K1 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 4 ms 

K2 + K1-SB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K2] + [K1SB_X K2]	K2 = 0 ms 	K1-SB = 0 ms 
[K2] + [K1SB_60]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 

K2 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K2] + [SB28_60]	K2 = 0.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [SB28_60_C]	K2 = 6 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [SB28_60_Cx]	K2 = 4 ms 	SB28 = 0 ms 

K2 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K2] + [KS28_60]	K2 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [KS28_60_C]	K2 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [KS28_60_Cx]	K2 = 4 ms 	KS28 = 0 ms 

K2 + K1-SB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60]	K2 = 0 ms 	K1-SB = 0 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60_C]	K2 = 5.5 ms 	K1-SB = 5.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60_Cx]	K2 = 3.5 ms 	K1-SB = 3.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	SB28 = 6 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	SB28 = 0.5 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60_Cx]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	SB28 = 4 ms 

K2 + K1-SB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60]	K2 = 0 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60_C]	K2 = 5.5 ms 	K1-SB = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60_Cx]	K2 = 3.5 ms 	K1-SB = 3.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 6 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60_C]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 0.5 ms 
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60_Cx]	K2 = 6 ms 	K1-SB = 0 ms 	KS28 = 4 ms 

K3 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K3] + [KS28_60]	K3 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[K3] + [KS28_60_C]	K3 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 
[K3] + [KS28_60_Cx]	K3 = 4 ms 	KS28 = 0 ms 

K3 + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[K3] + [KS21_60]	K3 = 0 ms 	KS21 = 0 ms 
[K3] + [KS21_60_C]	K3 = 5.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[K3] + [KS21_60_Cx]	K3 = 5 ms 	KS21 = 0 ms 

Kudo + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KUD0xx_60] + [SB118_60]	Kudo = 0 ms 	SB118 = 3.5 ms 
[KUD0xx_60] + [SB118_60_C]	Kudo = 2 ms 	SB118 = 0 ms 

Kudo + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KUD0xx_60] + [SB18_60]	Kudo = 0 ms 	SB18 = 3.9 ms 
[KUD0xx_60] + [SB18_60_C]	Kudo = 1.6 ms 	SB18 = 0 ms 

Kudo + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KUD0xx_60] + [SB218_60]	Kudo = 0 ms 	SB218 = 5 ms 

Kudo + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KUD0xx_60] + [SB28_60]	Kudo = 0 ms 	SB28 = 5 ms 
[KUD0xx_60] + [SB28_60_C]	Kudo = 0.5 ms 	SB28 = 0 ms 

Kudo + KB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KUD0xx_60] + [KS28_60]	Kudo = 0 ms 	KS28 = 5 ms 
[KUD0xx_60] + [KS28_60_C]	Kudo = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA] + [SB18_100]	Kara = 0 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA_FI] + [SB18_100]	Kara = 3 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_100_C]	Kara = 5.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_100_Cx]	Kara = 4 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA_FI] + [SB18_100_C]	Kara = 8.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA_FI] + [SB18_100_Cx]	Kara = 7 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_60]	Kara = 2.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_60_C]	Kara = 8 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_60_Cx]	Kara = 6.5 ms 	SB18 = 0 ms 

Kara + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA] + [KS21_60]	Kara = 0.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_60_C]	Kara = 6 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_60_Cx]	Kara = 5.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_100]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 
[KARA] + [KS21_100_C]	Kara = 5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_100_Cx]	Kara = 4 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA_FI] + [KS21_100]	Kara = 0 ms 	KS21 = 2.5 ms 
[KARA_FI] + [KS21_100_C]	Kara = 3 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA_FI] + [KS21_100_Cx]	Kara = 2 ms 	KS21 = 0 ms 

Kara + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA] + [SB28_100]	Kara = 0 ms 	SB28 = 1 ms 
[KARA] + [SB28_100_C]	Kara = 4.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA] + [SB28_100_Cx]	Kara = 7.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA] + [SB28_60]	Kara = 0 ms 	SB28 = 5 ms 
[KARA] + [SB28_60_C]	Kara = 0.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA] + [SB28_60_Cx]	Kara = 4.5 ms 	SB28 = 0 ms 

Kara + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA] + [KS28_100]	Kara = 0 ms 	KS28 = 1 ms 
[KARA] + [KS28_100_C]	Kara = 4.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [KS28_100_Cx]	Kara = 7.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [KS28_60]	Kara = 0 ms 	KS28 = 5 ms 
[KARA] + [KS28_60_C]	Kara = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [KS28_60_Cx]	Kara = 4.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara + SB18 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60]	Kara = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60_C]	Kara = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms 	SB18 = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara + SB18 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60]	Kara = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60_C]	Kara = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms 	SB18 = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara + KS21 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60_C]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_100] + [SB28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms 	KS21 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara + KS21 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60_C]	Kara = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA] + [KS21_100] + [KS28_60_Cx]	Kara = 5.5 ms 	KS21 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[KARA II] + [SB18_100]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA_II_FI] + [SB18_100]	Kara II = 3 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_100_C]	Kara II = 5.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_100_Cx]	Kara II = 4 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA_II_FI] + [SB18_100_C]	Kara II = 8.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA_II_FI] + [SB18_100_Cx]	Kara II = 7 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_60]	Kara II = 2.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_60_C]	Kara II = 8 ms 	SB18 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_60_Cx]	Kara II = 6.5 ms 	SB18 = 0 ms 

Kara II + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA II] + [KS21_60]	Kara II = 0.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_60_C]	Kara II = 6 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_100]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 
[KARA II] + [KS21_100_C]	Kara II = 5 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_100_Cx]	Kara II = 4 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II_FI] + [KS21_100]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 2.5 ms 
[KARA II_FI] + [KS21_100_C]	Kara II = 3 ms 	KS21 = 0 ms 
[KARA II_FI] + [KS21_100_Cx]	Kara II = 2 ms 	KS21 = 0 ms 

Kara II + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA II] + [SB28_100]	Kara II = 0 ms 	SB28 = 1 ms 
[KARA II] + [SB28_100_C]	Kara II = 4.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB28_100_Cx]	Kara II = 7.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB28_60]	Kara II = 0 ms 	SB28 = 5 ms 
[KARA II] + [SB28_60_C]	Kara II = 0.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB28_60_Cx]	Kara II = 4.5 ms 	SB28 = 0 ms 

Kara II + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KARA II] + [KS28_100]	Kara II = 0 ms 	KS28 = 1 ms 
[KARA II] + [KS28_100_C]	Kara II = 4.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS28_100_Cx]	Kara II = 7.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS28_60]	Kara II = 0 ms 	KS28 = 5 ms 
[KARA II] + [KS28_60_C]	Kara II = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS28_60_Cx]	Kara II = 4.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + SB18 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA II] + [SB18_100] + [SB28_60]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA II] + [SB18_100] + [SB28_60_C]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_100] + [SB28_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	SB18 = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + SB18 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA II] + [SB18_100] + [KS28_60]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA II] + [SB18_100] + [KS28_60_C]	Kara II = 0 ms 	SB18 = 0 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [SB18_100] + [KS28_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	SB18 = 5.5 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + KS21 + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA II] + [KS21_100] + [SB28_60]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA II] + [KS21_100] + [SB28_60_C]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_100] + [SB28_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	KS21 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 

Kara II + KS21 + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KARA II] + [KS21_100] + [KS28_60]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0 ms 	KS28 = 5.5 ms 
[KARA II] + [KS21_100] + [KS28_60_C]	Kara II = 0 ms 	KS21 = 0.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[KARA II] + [KS21_100] + [KS28_60_Cx]	Kara II = 5.5 ms 	KS21 = 6 ms 	KS28 = 0 ms 

Kiva + Kilo

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA] + [KILO]	Kiva = 0 ms 	Kilo = 1.5 ms 

Kiva/Kilo + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA_KILO] + [SB118_60]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB118 = 5.9 ms 
[KIVA_KILO] + [SB118_60_C]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB118 = 0.4 ms 

Kiva/Kilo + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA_KILO] + [SB18_60]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB18 = 6.3 ms 
[KIVA_KILO] + [SB18_60_C]	Kiva/Kilo = 0 ms 	SB18 = 0.8 ms 

Kiva + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA] + [SB15_100]	Kiva = 0 ms 	SB15m = 1.4 ms 
[KIVA] + [SB15_100_C]	Kiva = 2.4 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA_FI] + [SB15_100]	Kiva = 0 ms 	SB15m = 0.6 ms 

Kiva/SB15m + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA_SB15] + [SB18_60]	Kiva/SB15m = 0 ms 	SB18 = 8.5 ms 
[KIVA_SB15] + [SB18_60_C]	Kiva/SB15m = 0 ms 	SB18 = 3 ms 

Kiva II + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[KIVA II] + [SB15_100]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_Cx]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100_C]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 
[KIVA II_FI] + [SB15_100_Cx]	Kiva II = 5 ms 	SB15m = 0 ms 

Kiva II + SB15m + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60]	Kiva II = 0 ms 	SB15m = 1 ms 	SB18 = 1 ms 
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60_C]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 5.5 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60_Cx]	Kiva II = 1 ms 	SB15m = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60]	Kiva II = 2.5 ms 	SB15m = 0 ms 	SB18 = 3.5 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60_C]	Kiva II = 4.5 ms 	SB15m = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60_Cx]	Kiva II = 3 ms 	SB15m = 0.5 ms 	SB18 = 0 ms 

V-DOSC + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[V-DOSC_xx_X] + [SB218_X]	V-DOSC = 1.8 ms 	SB218 = 0 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [SB218_60]	V-DOSC = 0 ms 	SB218 = 3.8 ms 

V-DOSC + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60]	V-DOSC = 0 ms 	SB28 = 3.8 ms 
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.7 ms 	SB28 = 0 ms 

V-DOSC + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60]	V-DOSC = 0 ms +	KS28 = 3.8 ms +
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.7 ms +	KS28 = 0 ms +

V-DOSC + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_X] + [dV-S_X]	V-DOSC = 0 ms +	dV-SUB = 0.2 ms +

V-DOSC + dV-SUB + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB218_60]	V-DOSC = 0 ms +	dV-SUB = 0.2 ms +	SB218 = 3.7 ms +

V-DOSC + dV-SUB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60]	V-DOSC = 0 ms +	dV-SUB = 0.2 ms +	SB28 = 3.7 ms +
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.9 ms +	dV-SUB = 2 ms +	SB28 = 0 ms +

V-DOSC + dV-SUB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60]	V-DOSC = 0 ms +	dV-SUB = 0.2 ms +	KS28 = 3.7 ms +
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.9 ms +	dV-SUB = 2 ms +	KS28 = 0 ms +

V-DOSC + dV-DOSC

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [dV_xx_100]	V-DOSC = 0 ms +	dV-DOSC = 0 ms +

V-DOSC + dV-DOSC downfill

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[V-DOSC_xx_60] + [dV_xx_100]	V-DOSC = 0 ms +	dV-DOSC = 0.04 ms +

dV-DOSC + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB118_100]	dV = 2.7 ms 	SB118 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB118_100_C]	dV = 8.3 ms 	SB118 = 0 ms 

dV-DOSC + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB218_100]	dV = 0.8 ms 	SB218 = 0 ms 

dV-DOSC + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB18_100]	dV = 2.4 ms 	SB18 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB18_100_C]	dV = 8 ms 	SB18 = 0 ms 

dV-DOSC + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [SB28_100]	dV = 0.8 ms 	SB28 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [SB28_100_C]	dV = 6.3 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [KS28_100]	dV = 0.8 ms 	SB28 = 0 ms 
[dV_xx_100] + [KS28_100_C]	dV = 6.3 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[dV_xx_100] + [dV-S_100]	dV = 0 ms 	SB28 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60]	dV = 0 ms 	dV-SUB = 0.75 ms 	SB118 = 4 ms 
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60_C]	dV = 1.5 ms 	dV-SUB = 2.25 ms 	SB118 = 0 ms 

dV-DOSC + dV-SUB + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB218_60]	dV = 0 ms +	dV-SUB = 0.75 ms +	SB218 = 4.5 ms +

dV-DOSC + dV-SUB + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB18_60]	dV = 0 ms +	dV-SUB = 0.75 ms +	SB18 = 4.4 ms +
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB18_60_C]	dV = 1.1 ms +	dV-SUB = 1.85 ms +	SB18 = 0 ms +

dV-DOSC + dV-SUB + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [SB28_60]	dV = 0 ms +	dV-SUB = 0.75 ms +	SB28 = 4.5 ms +
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB28_60_C]	dV = 1 ms +	dV-SUB = 1.75 ms +	S218 = 0 ms +

dV-DOSC + dV-SUB + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定		
[dV_xx100] + [dV-S_60_100] + [KS28_60]	dV = 0 ms +	dV-SUB = 0.75 ms +	SB18 = 4.5 ms +
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [KS28_60_C]	dV = 1 ms +	dV-SUB = 1.75 ms +	SB18 = 0 ms +

定曲率 WST システム

ARCS + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB118_60]	ARCS = 0.8 ms +	SB118 = 0 ms +
[ARCS_xx_60] + [SB118_60_C]	ARCS = 6.3 ms +	SB118 = 0 ms +
[ARCS_xx_100] + [SB118_100]	ARCS = 1.4 ms +	SB118 = 0 ms +
[ARCS_xx_100] + [SB118_100_C]	ARCS = 6.9 ms +	SB118 = 0 ms +

ARCS + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB18_60]	ARCS = 0.4 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_60] + [SB18_60_C]	ARCS = 5.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB18_100]	ARCS = 1.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB18_100_C]	ARCS = 6.6 ms 	SB18 = 0 ms 

ARCS + SB218

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB218_60]	ARCS = 0 ms 	SB218 = 0.9 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB218_100]	ARCS = 0 ms 	SB218 = 0.3 ms 

ARCS + SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [SB28_60]	ARCS = 0 ms 	SB28 = 0.6 ms 
[ARCS_xx_60] + [SB28_60_C]	ARCS = 4.9 ms 	SB28 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB28_100]	ARCS = 0 ms 	SB28 = 0.5 ms 
[ARCS_xx_100] + [SB28_100_C]	ARCS = 5.0 ms 	SB28 = 0 ms 

ARCS + KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[ARCS_xx_60] + [KS28_60]	ARCS = 0 ms 	KS28 = 0.6 ms 
[ARCS_xx_60] + [KS28_60_C]	ARCS = 4.9 ms 	KS28 = 0 ms 
[ARCS_xx_100] + [KS28_100]	ARCS = 0 ms 	KS28 = 0.5 ms 
[ARCS_xx_100] + [KS28_100_C]	ARCS = 5.0 ms 	KS28 = 0 ms 

ARCS II+ SB28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[ARCS_II] + [SB28_60]	ARCS II = 0 ms 	SB28 = 2 ms 
[ARCS_II] + [SB28_60_C]	ARCS II = 3.5 ms 	SB28 = 0 ms 
[ARCS_II] + [SB28_60_Cx]	ARCS II = 7.5 ms 	SB28 = 0 ms 

ARCS II+ KS28

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[ARCS_II] + [KS28_60]	ARCS II = 0 ms 	KS28 = 2 ms 
[ARCS_II] + [KS28_60_C]	ARCS II = 3.5 ms 	KS28 = 0 ms 
[ARCS_II] + [KS28_60_Cx]	ARCS II = 7.5 ms 	KS28 = 0 ms 

ARCS Wide/Focus + SB18m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60]	ARCS Wide/Focus = 1.5 ms 	SB18m = 0 ms 
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60_C]	ARCS Wide/Focus = 7 ms 	SB18m = 0 ms 
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60_Cx]	ARCS Wide/Focus = 6 ms 	SB18m = 0 ms 

A15 Wide/Focus + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[A15] or [A15_FI] + [KS21_60]	A15 Wide/Focus = 3.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[A15] or [A15_FI] + [KS21_60_C]	A15 Wide/Focus = 9 ms 	KS21 = 0 ms 
[A15] or [A15_FI] + [KS21_60_Cx]	A15 Wide/Focus = 8 ms 	KS21 = 0 ms 

A10 Wide/Focus + KS21

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[A10] or [A10_FI] + [KS21_100]	A10 Wide/Focus = 0 ms 	KS21 = 0 ms 
[A10] or [A10_FI] + [KS21_100_C]	A10 Wide/Focus = 5.5 ms 	KS21 = 0 ms 
[A10] or [A10_FI] + [KS21_100_Cx]	A10 Wide/Focus = 0 ms 	KS21 = 0 ms 

コリニアシステム



Syva システムはプリアライメントディレイ値が不要です。

同軸スピーカーエンクロージャー



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.66 ms。LA4X と LA12X は 3.00 ms。)

X15 HiQ + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X15] + [SB18_100]	X15 HiQ = 4 ms	SB18 = 0 ms
[X15_MO] + [SB18_100]	X15 HiQ = 0 ms	SB18 = 1 ms

X15 HiQ + KS21

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X15] + [KS21_100]	X15 HiQ = 0 ms	KS21 = 1.5 ms
[X15_MO] + [KS21_100]	X15 HiQ = 0 ms	KS21 = 1.5 ms

X12 + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X12] + [SB15_100]	X12 = 1.5 ms	SB15m = 0 ms
[X12_MO] + [SB15_100]	X12 = 0 ms	SB15m = 3 ms

X12 + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X12] + [SB18_100]	X12 = 0 ms	SB18 = 0 ms
[X12_MO] + [SB18_100]	X12 = 0 ms	SB18 = 0 ms

X12 + KS21

プリセット	プリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[X12] + [KS21_100]	X12 = 0 ms	KS21 = 1 ms
[X12_MO] + [KS21_100]	X12 = 0 ms	KS21 = 1 ms

X8 + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X8] + [SB15_100]	X8 = 2 ms 	SB15m = 0 ms 
[X8_MO] + [SB15_100]	X8 = 0 ms 	SB15m = 3 ms 

X4i + Syva Sub

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[X4] + [SYVA SUB_200]	X4i = 0 ms 	Syva Sub = 0.5 ms 

115XT HiQ + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 

115XT HiQ + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 

115XT HiQ + dV-SUB

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[HIQ_FI_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.6 ms 	dV-SUB = 0 ms 
[HIQ_FR_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.6 ms 	dV-SUB = 0 ms 
[HIQ_MO_100] + [dV-S_100]	HiQ = 0.5 ms 	dV-SUB = 0 ms 

アクティブ 12XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTA_FI_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTA_FR_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTA_MO_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 

アクティブ 12XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTA_FI_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTA_FR_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTA_MO_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 

パッシブ 12XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTP_FI_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTP_FR_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[12XTP_MO_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 

パッシブ 12XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[12XTP_FI_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTP_FR_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[12XTP_MO_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 

8XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とボラリティ設定	
[8XT_FI_100] + [SB118_100]	8XT = 3.1 ms 	SB118 = 0 ms 
[8XT_FR_100] + [SB118_100]	8XT = 3.2 ms 	SB118 = 0 ms 
[8XT_MO_100] + [SB118_100]	8XT = 3.0 ms 	SB118 = 0 ms 

8XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[8XT_FI_100] + [SB18_100]	8XT = 2.8 ms 	SB18 = 0 ms 
[8XT_FR_100] + [SB18_100]	8XT = 2.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[8XT_MO_100] + [SB18_100]	8XT = 2.7 ms 	SB18 = 0 ms 

5XT + SB15m

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[5XT] + [SB15_100]	5XT = 0 ms 	SB15m = 0 ms 

115XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115XT_FI_100] + [SB118_100]	115XT = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[115XT_FR_100] + [SB118_100]	115XT = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[115XT_MO_100] + [SB118_100]	115XT = 2.9 ms 	SB118 = 0 ms 

115XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115XT_FI_100] + [SB18_100]	115XT = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[115XT_FR_100] + [SB18_100]	115XT = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[115XT_MO_100] + [SB18_100]	115XT = 2.6 ms 	SB18 = 0 ms 

アクティブ MTD115 + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115bA_FI_100] + [SB118_100]	115bA = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bA_FR_100] + [SB118_100]	115bA = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bA_MO_100] + [SB118_100]	115bA = 2.7 ms 	SB118 = 0 ms 

アクティブ MTD115 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115bA_FI_100] + [SB18_100]	115bA = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bA_FR_100] + [SB18_100]	115bA = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bA_MO_100] + [SB18_100]	115bA = 2.4 ms 	SB18 = 0 ms 

パッシブ MTD115 + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115bP_FI_100] + [SB118_100]	115bP = 2.1 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bP_FR_100] + [SB118_100]	115bP = 2.2 ms 	SB118 = 0 ms 
[115bP_MO_100] + [SB118_100]	115bP = 2.8 ms 	SB118 = 0 ms 

パッシブ MTD115 + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[115bP_FI_100] + [SB18_100]	115bP = 1.8 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bP_FR_100] + [SB18_100]	115bP = 1.9 ms 	SB18 = 0 ms 
[115bP_MO_100] + [SB18_100]	115bP = 2.5 ms 	SB18 = 0 ms 

112XT + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[112XT_FI_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3 ms 	SB118 = 0 ms 
[112XT_FR_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3 ms 	SB118 = 0 ms 
[112XT_MO_100] + [SB118_100]	112XT = 2.6 ms 	SB118 = 0 ms 

112XT + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[112XT_FI_100] + [SB18_100]	112XT = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112XT_FR_100] + [SB18_100]	112XT = 2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112XT_MO_100] + [SB18_100]	112XT = 2.3 ms 	SB18 = 0 ms 

MTD112b + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[112b_FI_100] + [SB118_100]	112b = 2.4 ms 	SB118 = 0 ms 
[112b_FR_100] + [SB118_100]	112b = 2.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[112b_MO_100] + [SB118_100]	112b = 3.0 ms 	SB118 = 0 ms 

MTD112b + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[112b_FI_100] + [SB18_100]	112b = 2.1 ms 	SB18 = 0 ms 
[112b_FR_100] + [SB18_100]	112b = 2.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[112b_MO_100] + [SB18_100]	112b = 2.7 ms 	SB18 = 0 ms 

MTD108a + SB118

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[108a_FI_100] + [SB118_100]	108a = 3.5 ms 	SB118 = 0 ms 
[108a_FR_100] + [SB118_100]	108a = 3.6 ms 	SB118 = 0 ms 
[108a_MO_100] + [SB118_100]	108a = 4.0 ms 	SB118 = 0 ms 

MTD108a + SB18

プリセット	ブリアライメントディレイ値とポラリティ設定	
[108a_FI_100] + [SB18_100]	108a = 3.2 ms 	SB18 = 0 ms 
[108a_FR_100] + [SB18_100]	108a = 3.3 ms 	SB18 = 0 ms 
[108a_MO_100] + [SB18_100]	108a = 3.7 ms 	SB18 = 0 ms 

負荷インピーダンス

以下のモデルを除くエンクロージャーの公称インピーダンスは 8 Ω です。

- 16 Ω :
 - K2 (HF セクション)、KIVA II、V-DOSC (HF セクション)、5XT、X4i
- 4 Ω :
 - SB28、KS28、Syva Low、K1-SB

総インピーダンス

定格	エンクロージャー数 / 並列接続セクション				
	2	3	4	5	6
16 Ω	8 Ω	5.3 Ω	4 Ω	3.2 Ω	2.7 Ω
8 Ω	4 Ω	2.7 Ω	---	---	---



4 オームのエンクロージャーはパラレル接続できません。

各アンプリファイドコントローラーにおける総数や、エンクロージャー数 / 並列接続セクションは、[アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力](#) (p.84) を参照してください。

アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力



出力のミュート、全体的なアッテネーション、オーディオ品質のロスリスク

出力チャンネルごとに接続可能なエンクロージャー数、およびアンプリファイドコントローラーに対する総数の最大を超えてはいけません。規定を上回る状態で使用するとアンプリファイドコントローラーの保護が作動する可能性があります。

	LA2Xi			LA4X	LA8	LA12X
	出力ごと* / 合計			出力ごと* / 合計	出力ごと* / 合計	出力ごと* / 合計
	SE [#]	BTL	PBTL			
同軸エンクロージャー						
X4i	4 / 16	---		4 / 16	6 / 24	6 / 24
5XT	4 / 16	---		4 / 16	6 / 24	6 / 24
X8	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	3 / 8 ^a	3 / 12
X12	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 8	3 / 12
X15 HiQ	1 / 2	---		1 / 2	2 / 4	3 / 6
8XT	---			2 / 8	3 / 12	3 / 12
アクティブ 12XT	---			2 / 4	3 / 6	3 / 6
パッシブ 12XT	---			1 / 4	2 / 8	3 / 12
112XT	---			2 / 4	3 / 6	3 / 6
115XT HiQ	---			1 / 2	2 / 4	3 / 6
115XT	---			1 / 2	3 / 6	3 / 6
MTD108s	---			2 / 8	3 / 12	3 / 12
MTD112b	---			1 / 4	2 / 8	2 / 8
アクティブ MTD115b	---			1 / 2	2 / 4	2 / 4
パッシブ MTD115b	---			1 / 4	2 / 8	2 / 8
コリニアソース						
Syva	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 8	3 / 12
定曲率 WST エンクロージャー						
ARCS Wide/Focus	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 8	3 / 12
A10(i) Wide/Focus	2 / 8	1 / 2	---	2 / 8	2 / 8	3 / 12
A15(i) Wide/Focus	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 8	3 / 12
ARCS II	---			1 / 2	2 / 4	3 / 6
ARCS	---			1 / 2	3 / 6	3 / 6
可変曲率 WST エンクロージャー						
K1	---			---	2 / 2	2 / 2
K1-SB	---			---	1 / 4	1 / 4
K2	---			1 / 1	3 / 3	3 / 3
K3	---			1 / 2	2 / 4	3 / 6
Kara(i)	2 / 4	---		2 / 4	3 / 6	3 / 6

^a LA8 は 1 出力あたり最大 3 コの X8 をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 8 コまでとします。

	LA2Xi			LA4X	LA8	LA12X
	出力ごと* / 合計			出力ごと* / 合計	出力ごと* / 合計	出力ごと* / 合計
	SE [#]	BTL	PBTL			
Kara II	2 / 4	---		2 / 4	3 / 6	3 / 6
Kiva II	2 / 8	2 / 4	---	2 / 8	4 / 16	6 / 24
Kiva / Kilo	---			2 / 8	3 / 12	3 / 12
Kudo	---			1 / 1	3 / 3	3 / 3
V-DOSC	---			---	2 / 2	2 / 2
dV-DOSC	---			---	3 / 6	3 / 6
サブウーハーエンクロージャー						
KS28	1 / 4	---	1 / 1	---	---	1 / 4
SB28	1 / 4	---	1 / 1	---	1 / 4	1 / 4
KS21(i)	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 6 ^b	2 / 8
SB18(i)	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 8	3 / 12
SB218	---			---	1 / 4	1 / 4
SB118	---			1 / 4	2 / 8	2 / 8
SB15m	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 6 ^c	3 / 12
Syva Low	1 / 4	---		1 / 4	1 / 4	2 / 6 ^d
Syva Sub	1 / 4	1 / 2	---	1 / 4	2 / 8	3 / 12
dV-SUB	---			---	1 / 4	1 / 4

b LA8 は 1 出力あたり最大 2 コの KS21 および KS21i をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コまでとします。

c LA8 は 1 出力あたり最大 2 コの SB15m をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コまでとします。

d LA12X は 1 出力あたり最大 2 コの Syva Low をドライブできますが、高レベル時は 1 コントローラーあたり最大 6 コまでとします。

* パッシブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続エンクロージャー数に対応し、アクティブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続セクション数に対応します。

X4i と 5XT を除くシステムは、SE オペレーティングモードで最大 SPL が減少します。詳細は LA2Xi オーナーズマニュアルをご確認ください。

LA4 のエンクロージャードライブ能力



出力のミュート、全体的なアッテネーション、オーディオ品質のロスリスク

出力チャンネルごとに接続可能なエンクロージャー数、およびアンプリファイドコントローラーに対する総数の最大を超えてはいけません。規定を上回る状態で使用するとアンプリファイドコントローラーの保護が作動する可能性があります。

	出力ごと* / 総数
同軸エンクロージャー	
X4i	4 / 16
5XT	3 / 12
8XT	2 / 8
アクティブ 12XT	2 / 4
パッシブ 12XT	1 / 4
112XT	2 / 4
115XT HiQ	1 / 2
115XT	1 / 2
MTD108a	2 / 8
MTD112b	1 / 4
アクティブ MTD115b	1 / 2
パッシブ MTD115b	1 / 4
定曲率 WST エンクロージャー	
ARCS Wide/Focus	1 / 4
ARCS	1 / 2
可変曲率エンクロージャー	
Kiva / Kilo	2 / 8
サブウーハーエンクロージャー	
SB18	1 / 4
SB118	1 / 4
SB15m	1 / 4
Syva Sub	1 / 4

* パッシブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続エンクロージャー数に対応し、アクティブスピーカーの場合、値は出力あたりの並列接続セクション数に対応します。



L-Acoustics

13 rue Levacher Cintrat - 91460 Marcoussis - France
+33 1 69 63 69 63 - info@l-acoustics.com
www.l-acoustics.com



 **L-ACOUSTICS**
GROUP